

**令和 6 年第 3 回 壬生町議会定例会
閉会中の継続調査報告書
(建設経済常任委員会)**

建設経済常任委員会に係る閉会中の継続調査結果をご報告申し上げます。

令和6年第2回壬生町議会定例会において、閉会中の継続調査といたしました「道の駅みぶリニューアル工事について」の審議を令和6年6月28日及び8月30日の2日間、全委員出席のもと実施いたしました、経過と結果をご報告申し上げます。

町は、道の駅の活性化を図るため、「みぶハイウエーパーク」と町おもちゃ博物館、町総合公園、県とちぎわんぱく公園の4施設で構成する道の駅の、統一コンセプトづくりや町の魅力を発信していくには、民間の力が必要と判断し、第三セクター「ラシックみぶ」を設立しました。今後、ラシックみぶは、道の駅を軸に、地域経済の活性化や農産物・特産品・飲食物などの加工販売と販路拡大を目指すことになります。

そのため、当りリニューアル工事は、「みぶハイウエーパーク」に、トイレ棟・管理棟を建設し、より一層の集客を図るための工事となります。

まず、商工観光課より事業の概要等についての説明を受け、質疑応答を行いました。次に現地調査を実施した後、再び質疑応答を行いました。

委員より、「管理棟に出来る加工所または事務室について町民の方も利用できるのか、また、加工するものにはどのような品目を考えているか。」との質問に対し、「加工する品目は、弁当や総菜、パン、ジェラートなどです。通常の農産物加工所のように一般の人に開放する想定はしておりません。また、2階についても、出店されている方が打ち合わせをすとか、農業・商業の方の連携の場という事をイメージしています。」との説明を受けました。

また委員から、「新しいトイレは、機能的で広く、使い易くてバリアフリーという事ですが、何かブランディングはできるのか」との質問に対し、「快適性、清潔さ、機能性などを総合的に考えネクスコとも十分調整しており、多機能性トイレが3基ある道の駅は、県内にはありません。また最近、LGBTQということで、男性用や女性用だと使用しづらいという方にも多機能型トイレが多くあるという事を中心に、日本一を標榜できるよう目指したいと思っています。」との説明を受けました。

また委員からの、「費用の三分の一をネクスコが担っているが、関東近県でこのようなやり方は、よくあるのか、また、何故ネクスコはこの条件をのんだのか」との質問に対し、「これだけPAに接した道の駅は全国にもありません。費用負担につきましては、現在ネクスコと町のトイレ両方がありまして、ネクスコとしても負担が軽減できればという事で、初めから理解を頂き進めることが出来ました。十分に意見交換を行っており、他のPAに劣らないものが出来ると思います。」との説明を受けました。

また委員からの、「工事図面では仮囲い（ガードフェンス）の線が引かれているが、利用者が間違えて、工事現場に入るような隙間はないか」との質問に対し、「毎週、施工業者・設計業者と打ち合わせを行い、会議終了時には工事現場に入れないよう遮断しています。」との回答でした。

また委員より、「トイレが駐車場から遠くなることについてはどうなのか。現在ある芝生広場は、今後どのようなになるのか、また、トイレに利用者カウンターがありました。今後はどうするのか」の質問に対し「トイレが東側になりますが、将来的にはこの位置が、道の駅の中心エリアになると思います。芝生広場に関しては駐車場を整備する予定です。」また、「トイレのカウンターについては、令和4年度の移動履歴によると、誤差があまりなく、精度が高いという事で、継続する価値があると思います。」との説明がありました。

また委員より、「新たな管理棟に会議室が出来るが、現在ある会議室をどうするのか、また、加工所の利用が増えると思うが駐車場の開口部はどのようにするのか、業者の搬入口を別に設けるのか」との質問に対し「新しく会議室が出来るため、有効な利用方法を検討します。また、駐車場の開口部については、専門業者の意見を聞きながら現在都市計画課と共同で設計しており、今後どのような形が望ましいか検討していきます。」との説明を受けました。

また委員より、「喫煙者はスモキングエリアとトイレが離れていると、バスの休憩時間に、売店等を見ることが出来ずにバスに戻ることになるので、トイレ方向にスモキングエリアを設ければ人流的に売店等の前を通るので良いのでは」の意見に対し、「喫煙後、トイレを済ませ、お店に寄っていただければと思いますので、参考にさせていただきます。」との事でした。

また委員より、「直売所の南側通路に2m60cmとありますが、車いす利用者と一般の方が通るのに十分な幅という事ですか、また、通路の両側はフラットにするのか」との質問に対し、「十分な幅と考えますが、混雑の場合は譲り合いも必要だと思いますので、よりよい方法があればと思っています。また、通路の両側はフラットで行けるとしています。」との説明を受けました。

また委員より、「女子トイレの入り口に壁がありますが、中が見えないため不審者が入りやすいと思う。トイレの中が見えないようにつけるという事か」との質問に対し「ネクスコとの話し合いの中で、やはり外から中が見えないように壁をつけていただきたいとの事で設置しました。当初、一般道からの利用可とも考えましたが、夜間、不特定多数の方が出入りする懸念もあり、PA側だけにしました。」との説明を受けました。

今回調査を実施いたしましたが、当リニューアル工事については竣工後の利用客数の増減などの状況を随時確認し、必要があれば再度調査することも視野に、引き続き検証を行って参ります。

以上、建設経済常任委員会の閉会中の継続調査結果報告といたします。

令和6年9月3日

建設経済常任委員会委員長 大山 博